

## ◎もくじ◎ 石灰窒素だより No.136

- ◎石灰窒素研究の過去・現在・未来／藤原彰夫—————1
- ◎土壌への影響も含めて硫安と石灰窒素を比較する／麻生慶次郎—————5
- ◎合理的な施用法を探る／小畑秀雄—————8
- ◎桑樹の白絹病に対する防除効果の基礎を確かめる／中村重太郎—————12
- ◎稲の不耕起直播栽培／黒川 計—————19
- ◎石灰窒素は有機物からの窒素吸収を高める—————22

『温故知新』石灰窒素は、生誕100年を迎えました。

日本では、工業的生産が始まる以前から肥料と農薬の研究が始まりましたが、石灰窒素そのままとしての需要は少なく、大部分が硫安に変成されていました。その間、石灰窒素の研究が進み、正しい使いかたが普及され、石灰窒素として使用されるようになりました。これらの研究成果のなかから、いくつかを紹介します。

次号から『石灰窒素だより』の編集担当者がかかります。日本の農業もかわり、石灰窒素の姿もかわりました。新しい石灰窒素とその便りにご期待ください。